

当社の事業の現状と将来ビジョン

スカパーJSATグループミッション

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ

不便が「快適」にかわる生活へ

好きが「大好き」にかわる人生へ

2020年7月6日
スカパーJSAT株式会社

1. 当社の事業の現状

宇宙（通信）事業

- 防災対策で国内需要
- グローバル衛星通信ビジネス
- 船舶・航空向け衛星回線の提供

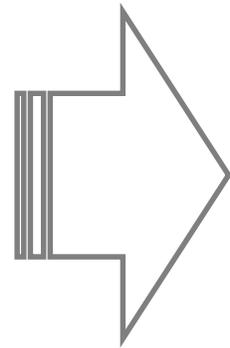


535億円 FY2019営業収益 976億円
スカパー!

メディア（放送）事業

- 有料衛星放送
- 国内最大のチャンネルラインナップ

宇宙（通信）事業の内訳



航空機、船舶、海外利用



衛星多チャンネル放送



災害対策、地上回線のバックアップ メディア、官公庁、携帯キャリア等



低軌道衛星関連事業等

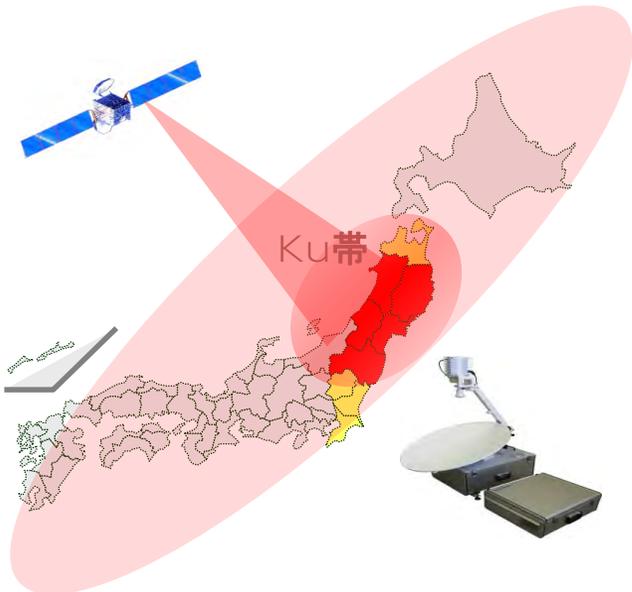


2. 宇宙の利用例（その1） 災害対策



SKY Perfect JSAT Group

東日本大震災（2011年）



通信回線

以下の省庁及び企業より、追加割当てを要求

- ◆ 中央省庁(防衛省、警察庁他)
- ◆ 地上波TV局
- ◆ インフラ企業(鉄道会社、携帯通信事業者、電力会社)
- ◆ その他民間企業

-追加要求帯域の主な利用用途-

- ◆ 被災地からの映像伝送
- ◆ 被災地と指揮命令拠点(災害対策本部等)の連絡回線
- ◆ 電力会社のシステム復旧
- ◆ 携帯電話のバックホール回線の調達
- ◆ 鉄道、道路等の復旧のための連絡回線

地上アンテナ設備

- ◆ 避難所/仮設住宅
- ◆ 携帯通信事業者
- ◆ 市町村役場(災害対策本部) 等

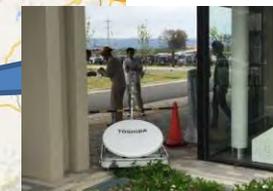
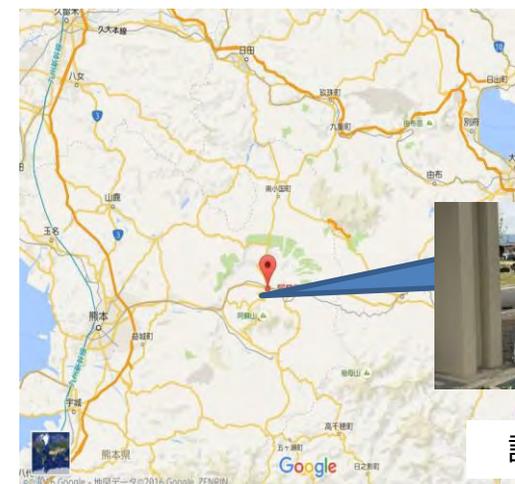
衛星携帯電話

- ◆ 地上波TV局/新聞社
- ◆ 通信事業者
- ◆ 総務省 等

熊本地震（2016年）

2016年4月14日及び16日未明と断続的に発生した「平成28年熊本地震」において、厚生労働省DMAT（災害派遣医療チーム）事務局要請の下、(株)東芝にも協力頂き、VSAT可搬局を出動して緊急衛星回線を構築

4月18日には、阿蘇医療センターがDMAT活動拠点本部となり、**DMATの業務用衛星回線設備**として稼動



設置された可搬局と衛星電話

2. 宇宙の利用例（その2） 携帯通信事業者、ヘリコプター搭載型システム

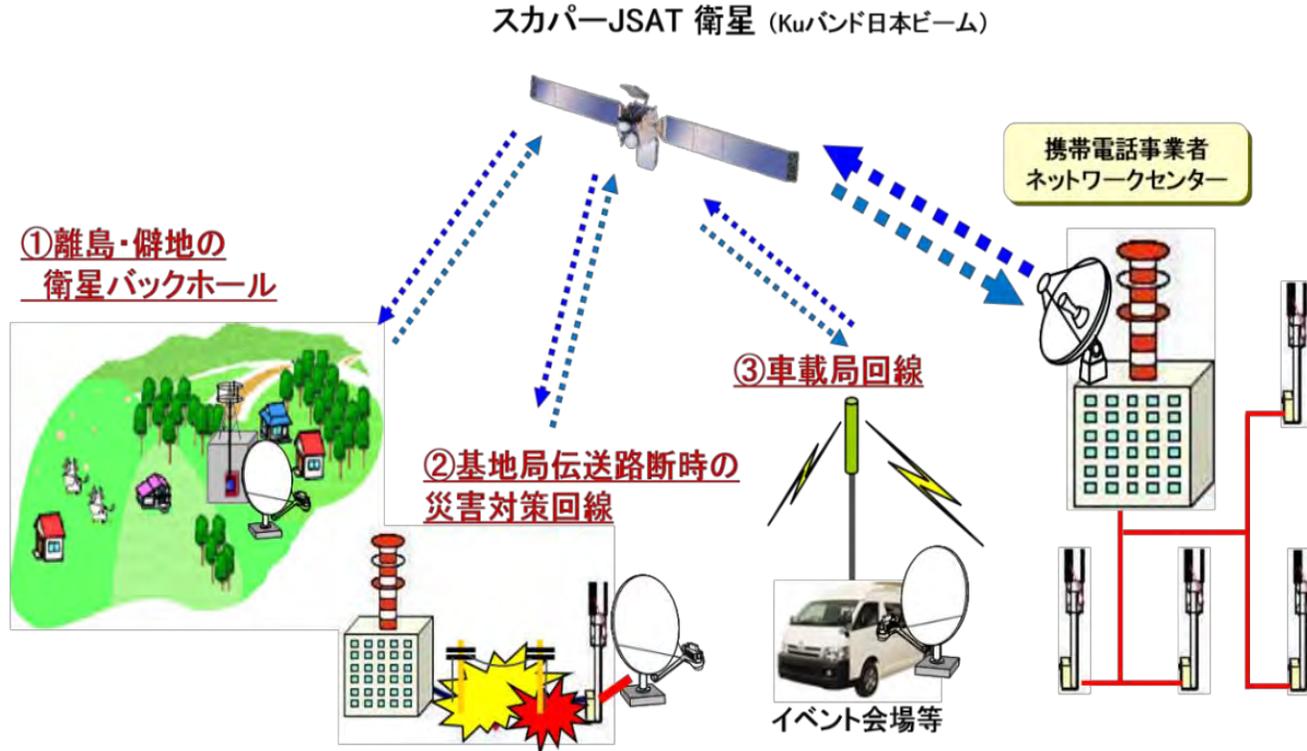


SKY Perfect JSAT Group

携帯通信事業者のバックホール回線※

※携帯電話基地局とネットワークセンター（基幹網）とを結ぶ回線

- ①不感地帯解消のためエリア拡張での利用
- ②災害対策用回線としての利用
- ③車載局回線向け利用



ヘリコプター搭載型衛星通信システム

- 国土交通省、消防機関等で順次導入
- 平成30年の7月豪雨、北海道胆振東部地震、台風21号、台風24号などの災害対応でもヘリサット搭載防災ヘリが出動



ヘリコプター搭載型衛星通信装置

上記 2図 提供：国土交通省近畿地方整備局
www.kkr.mlit.go.jp/plan/safety/bousai/saigaikiki/qgl8vl000000389g-att/h28p6_7.pdf

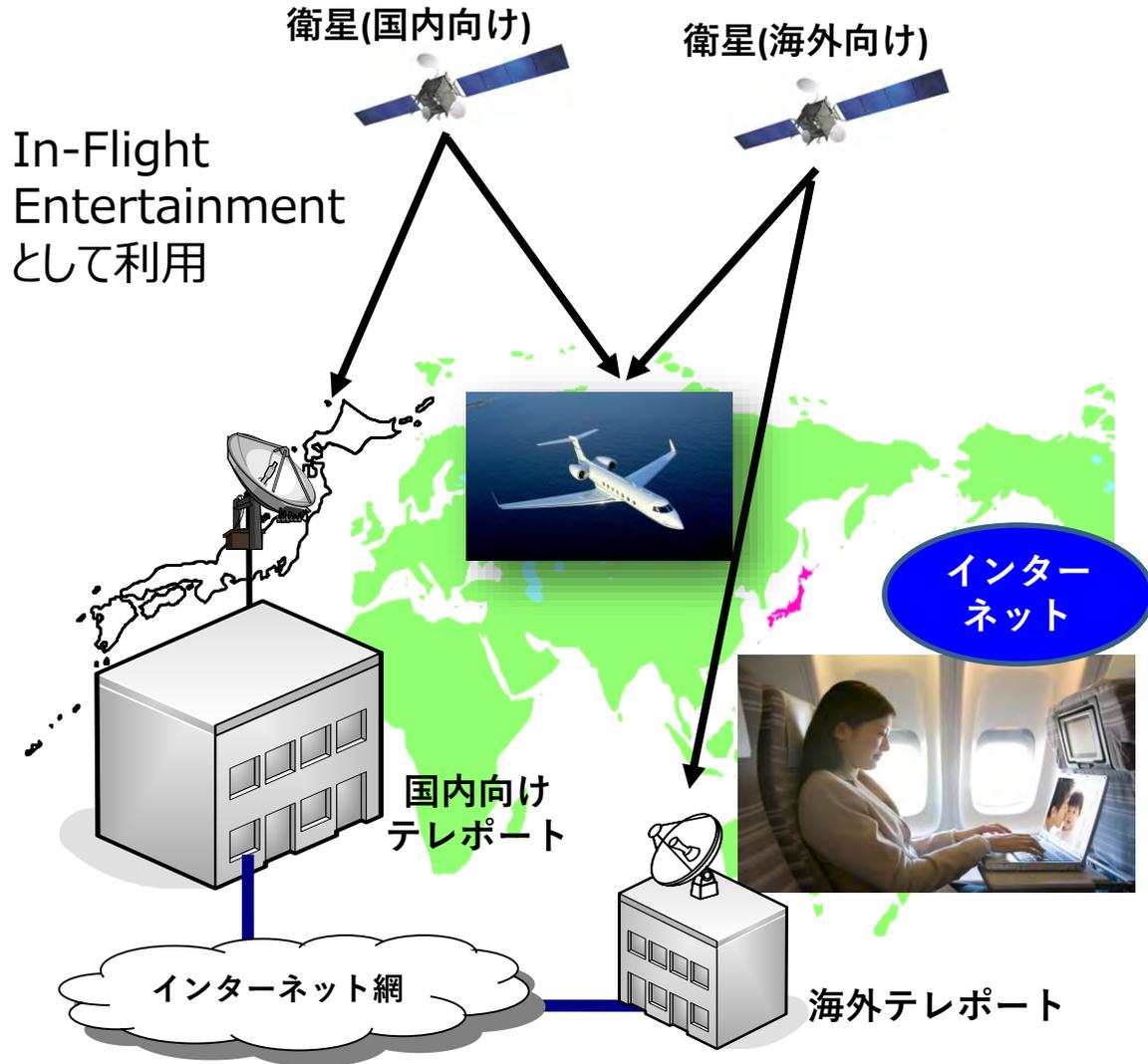
2. 宇宙の利用例（その3） 航空機、船舶 移動体向け通信



SKY Perfect JSAT Group

海洋ブロードバンドサービス
OceanBBplus
オーシャンビービープラス

航空機インターネット向け回線



船舶向け通信サービス

